

## 校長室だより(No28)

R05/3/22

木々のつぼみがふくらみ、県内のあちこちで桜が咲き始める季節となりました。

さて、3月9日には5組から9組で「ありがとう会」がありました。今年度で卒業する4人の6年生に1年生から5年生のみなさんが一人ずつ「ありがとう」の気持ちを6年生一人一人に自分の言葉で伝えました。また、6年生からは、お世話になった感謝の言葉と中学校に向けての気持ちや将来の夢について発表がありました。6年生の保護者の方もご参加いただき、今年1年間にあった出来事を映像と音楽で振り返りながら、和やかな雰囲気の中で行う事ができました。また、5組から9組の子どもたちは、3月20日に「お別れ遠足」にも行ってきました。参加したみなさんは、1ゲームずつボーリングを行いました。友達が投げたボールでピンが倒れるたびに拍手が起こりました。上級生が下級生のお世話をする姿も見られ、楽しく微笑ましい思い出に残るひとときをみんなで過ごしました。

1年生から5年生のみなさんは今、学習や生活のまとめ、次の学年に自分たちが使った教室をきれいにするために掃除もかまびっているところです

さて、3月16日には「令和4年度 卒業証書授与式」が体育館で行われました。

卒業証書を受けとる姿に子どもたちの成長をととても感じました。

卒業生の「お別れの言葉」や「お別れの歌」では、小学校生活を思い出しながら、感謝の気持ちを込めて表現し、この川内北小学校を卒業していきました。

また、私から次は、次のような言葉を卒業生に贈りました。

これからも、3つの「ありがとう」を大切にできる人になってください。

1つ目は、「周りの人にありがとう」です。

些細なことでも感謝の気持ちを周りの人に伝えましょう。

すると、周りの人は笑顔になり、それを見て自分も笑顔になります。

また、人と会話すること、人と関わるのが楽しくなってきます。

2つ目は、『ありがとう』と言われる人になる』です。

これは、困っている人を笑顔に、笑顔がない人を元気にするという事です。

自分の得意なことや好きなことで、人を笑顔にできれば、

永く続けられるもの(仕事にも)なります。

3つ目は、「自分にありがとう」です。

人は一日に10万回心臓が動き、一日に3万5千回の選択・決断をしていると言われてます。

そして、自分の一番のよき理解者は自分自身です。

そんな自分の心や体に「ありがとう」と感謝してみましよう。

すると自分をもっと好きになり、周りの人のことも好きになります。

さらに、自分に「自信」が湧いてくるのです。

「ありがとう」は昔も新時代になっても、心豊かに生き抜くための「魔法の言葉」です。

1年生から5年の子どもたちが卒業生のためにきれいにした学舎を6年生は胸をはって巣立っていきました。5年生からの「お祝いのメッセージ」を映像として、式の最後に卒業生に見てもらいました。バトンを渡す子どもたち、バトンを受け取るも子どもたちの思いが繋がった瞬間でした。

卒業生のみなさんには、これから続く『自分だけの物語』の主人公として、夢・目標に向かって歩みを続けてほしいと思います。

